

27号

題字 岩津小6年

岡崎のハーモニーでの  
甲山・葵中合同発表会

# かいほつ



岡崎市特殊教育推進協議会

平成4年12月18日



ありがとう

城北中学校長

磯谷栄一

私が特殊教育に関わりを持ったのは、今から九年前の昭和五十九年市教育委員会に入ってからでした。それまでは、特殊教育に対して何の知識もありませんでしたので、大変とまどった思いがあります。昭和六十二年の一年間は理科部に関りましたので、八年間の長きにわたって、特殊教育部の皆さんに大変お世話になったことになりました。この間、楽しかったこと、うれしかったこと、苦しかったことなど多くの思い出がありますが、特殊教育に関わらせていただいて、本当によかった、幸せであったと思っています。それは、他教所部にも見られない思いやりのある家庭的雰囲気や団結力のある部であったこと、現状に満足せず常に前進的考え方をしたこと、特級学級の純真な生徒に接して私の教育観が正されたこと、またその父兄に接して親としての苦しみや理解できたことなどです。しかし、苦しんだこともありました。特に、就学指導と特級学級に対する国の会計監査には苦しみました。しかし、それらの苦しみがあつたら、今の岡崎の特殊教育の充実がなされたと思っております。

今後の岡崎の特殊教育がより発展するには、次のことがなされるければならないでしょう。

- ・いつでも、専門的に、親身になって相談できる就学指導の確立
- ・生徒の実態をふまえた個別的カリキュラムの作成と教育実践
- ・教師の自主的研究、研修の充実

この三つのことを特級学級担当教師が団結し、協力し合いながら推進され、より発展されることを心から祈っております。

# 親の集い うがひ

—市内小中特殊学級連合—

④開会式  
⑤UASサーフィン  
生徒切り絵  
(美川中3年)



もと親の集い運動会の歌」が歌われ、会場いっばいに、子どもたちの明るい歌声が響きわたりました。また、クレヨンしんちゃんの子も楽しそうでした。とても和やかな雰囲気会場中に、漂いました。

競技では、毎年行われる「玉入れ」や「かけっこ・徒競走」の他に、アイディアに富んだ楽しいものがたくさんありました。小学生

開会式では、本運動会のテーマ曲である「子どもと親の集い運動会の歌」が歌われ、会場いっばいに、子どもたちの明るい歌声が響きわたりました。また、クレヨンしんちゃんの子も楽しそうでした。とても和やかな雰囲気会場中に、漂いました。

今回で第十回を迎えた岡崎市特殊学級合同「子どもと親の集い運動会」が、九月八日(火)に、岡崎総合体育館で開催されました。

真新しい空調設備に整った総合体育館での開催は、家康公生涯四百五十周年祭記念、第十回という節目にとってもふさわしく、子どもたちの目も輝き、生き生きとした姿が印象的でした。



開会式に先立って行われた行進は、多数の来賓の方や保護者の方の拍手をあげながら、どの学校の児童・生徒も元氣いっばいに手を振り、立派にできました。

開会式では、本運動会のテーマ曲である「子どもと親の集い運動会の歌」が歌われ、会場いっばいに、子どもたちの明るい歌声が響きわたりました。また、クレヨンしんちゃんの子も楽しそうでした。とても和やかな雰囲気会場中に、漂いました。

親子競技は、家康公生涯四百五十周年祭にふさわしい「めざせ家康エイ、エイ、オー！」というものでした。参加者全員が、チームカラーのカブトをつけて走り回る姿は、とても勇壮でした。中学生親子競技「サーフィソU・S・A」は、サンクラス・サーフボードを持つてのリレーゲームでした。親子協力して一生懸命に走る姿に、会場は沸き立ちました。

梅園小 岡田 幸夫

参加していただいた保護者の方からアンケートを募りました。その中から主なものを紹介します。

①日時について  
八割以上の方が、「適当」と回答。夏休み後も少しだったところ、仕事の都合や父親の参加を求める意味で土日開催の意見も若干名ありました。実施時間帯については、ほぼ「よい」結果でした。

②会場について  
広い・きれいな・明るい・演技が見やすいと好印象でした。さらに、空調設備使用については、前年度の印象から子ども・親とも「気持ちよい」「体がらく」という声をかなり多く聞きました。また、見学の多い立場の方からは「少し寒い」と若干でました。

③開会式・歌について  
行進時の子どもたちの表情、明るく覚えやすいテーマソングに好評価。また、テーマソングについて、会場で歌いやすい工夫を求め、お母さんの意見もありました。

④体操・各演技について  
体操のリズム・楽しさ、学年のレベルにあった各演技の取り組みやすさや子どもたちの表情のよさを認めていただきました。

一方、かけっこの距離延長、

参加していただいた保護者の方からアンケートを募りました。その中から主なものを紹介します。

①日時について  
八割以上の方が、「適当」と回答。夏休み後も少しだったところ、仕事の都合や父親の参加を求める意味で土日開催の意見も若干名ありました。実施時間帯については、ほぼ「よい」結果でした。

②会場について  
広い・きれいな・明るい・演技が見やすいと好印象でした。さらに、空調設備使用については、前年度の印象から子ども・親とも「気持ちよい」「体がらく」という声をかなり多く聞きました。また、見学の多い立場の方からは「少し寒い」と若干でました。

参加していただいた保護者の方からアンケートを募りました。その中から主なものを紹介します。

①日時について  
八割以上の方が、「適当」と回答。夏休み後も少しだったところ、仕事の都合や父親の参加を求める意味で土日開催の意見も若干名ありました。実施時間帯については、ほぼ「よい」結果でした。

②会場について  
広い・きれいな・明るい・演技が見やすいと好印象でした。さらに、空調設備使用については、前年度の印象から子ども・親とも「気持ちよい」「体がらく」という声をかなり多く聞きました。また、見学の多い立場の方からは「少し寒い」と若干でました。



③開会式・歌について  
行進時の子どもたちの表情、明るく覚えやすいテーマソングに好評価。また、テーマソングについて、会場で歌いやすい工夫を求め、お母さんの意見もありました。

④体操・各演技について  
体操のリズム・楽しさ、学年のレベルにあった各演技の取り組みやすさや子どもたちの表情のよさを認めていただきました。

一方、かけっこの距離延長、

⑤継続引きについて  
レクリエーション的な取り入れ方にしましたが、実際の昼食時間との関わりから、多くの人の参加には難しさがあつたようです。

⑥その他  
●バスの送迎の「よさ」と今後の継続利用の要望。●保護者の方の係の参加協力と支援の声。●他校の保護者の方や子どもたちとの交流の機会。●「楽しみな」平面作品の掲示と見学時間の少なさ。等

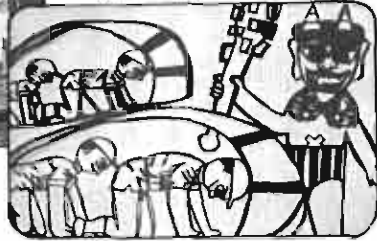
右に紹介できなかった貴重な意見もいろいろある観念に渡り、いただいておりますので今後の企画・運営の際に検討していこうと思っております。

平成鬼たいじ

# 第10回子どもと

# うんどう

④ジェンカの表彰  
 ⑤平成鬼たいじ生徒切り絵  
 (美川中3年)



⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

- 1 たいそう (全員)
- 2 たま入れ (全員)
- 3 かけっこA (小)
- 4 サーフインUSA (中・親)
- 5 かけっこB (小)
- 6 べんとう・つなひき (中)
- 7 平成鬼たいじ (中)
- 8 とぎょう走 (小・親)
- 9 かもつ列車出発 (中)

## さいごの運動会

美川中 三年

ぼくは、子どもと親の運動会をしました。はじめの体そろは、みんなの前に出てやりました。夏休みにみんなで練習しました。少しきんちょうしました。

小学校の子が走った時、カードをわたす係を手つだいました。ばんおもしろかったのは、平成鬼たいじです。鬼の先生におもいっきり玉をぶつけました。ぼくは、そつぎょうなので、毎年のしみにしていたこの運動会もさいごになりました。おもしろかったです。よかったです。

## 鬼の目で見た運動会

—運営に携わって—

矢作東小 船越 学

突如として現れた赤青黄緑の鬼。こんなふうにしたらどう、こうしの私たちに、恐れ逃げ回る子ども。たらいよと延々と話し合いが続く。連、歓声を上げ、罵声を浴びせ追いかけてくる子ども達。鬼の登場に子ども達は興奮した。

「中学生を桃太郎にして、最後に鬼退治をするっていうのはどう？」  
 「去年の鬼をとっておけばよかったねえ」  
 「鬼は人間がやるか」  
 「笑い……」

運動会実施に当たって、まず大切なのが、演技種目の決定である。あらかじめ、演技計画を分担して話し合いに望む。経験豊かな先生を中心に、話し合いが進められるが、演技の内容から演技の名前まであってもない、こうでもない、うしろさかい頭で。

新鮮なアイデアが飛びかい、話し合いが脱線しながらも煮詰められていく。サーフインUSA担当の先生の頭の柔らかさはいつも感心する。実際の演技の仕方だけでなく、音楽や演出まで工夫し臨場感ある内容に子どもも親ものってしまふ。

また、体壇担当の先生の運動も柔軟で子どもが楽しめそうだった。《開心ばかり》子どもたちの配慮にも感心した。かけっこ担当の先生は、ゴールする目的意識を持たせるために、スタート時点で玉をもたせ、ゴールしてからカバの口に入れることをとりいれた。



運動会道具作り

また、招集担当の先生は、参加の子ども全員の名簿の作り、名前の呼び方から走方、補助の検討など一人ひとりをあつめた。

プログラムの寄席文字担当の先生、やさしい声のアナウンス機、バスの配車、予算の交渉……多くの先生が運動会をつくる。《この運動会が好き》

表彰状に象徴されるように、勝ち負けにこだわらないところがいい。サーフインの気分になる、鬼をやっつける戦士になる、右へ左へ走りまわる、応援でチームが一体となる。活動自体を楽しむところが本当にいい。

鬼を担当した私には、子ども達の歓声と、係に携わって学んだ素晴らしい運動会の余韻がまだ残っている。

# 通級学級を担当して

三島小 高橋純子

「通級」とは、普通学級に在籍

している児童が、週に何時間か通級学級で特別な指導を受けることができるというものです。従来も難聴や言葉の教室などでは行われることがあったのですが、これが制度化されることになり、研究を始めました。

本校では、「みどり」という名前前で、六名の児童を迎えてスタートしました。教室は普通教室の四分の三程の大きさですが、全面カーペット敷きで、キナスター付きの白いテーブル、緑の椅子、たくさん玩具やかわいい縫いぐるみに溢れた魅力的な場所となっています。

みどり学級に通ってくる児童は軽い自閉症、てんかん、吃音、登校拒否の傾向などの障害や問題を抱えています。一人ひとりに合った指導をと箱庭療法や遊戯療法音楽療法、感覚統合訓練、昆虫の飼育

育などを取り入れています。箱庭療法とは、57センチ×72センチ×7センチの箱に砂を入れ、そこに小さな玩具を並べて、自分の心象風景を表現していくものです。遊戯療法では、「ご遊びやゲームを中心にして、子ども達が心のままに楽しく遊ぶ中で情緒の安定を図ります。音楽療法では、音楽に合わせて歌ったり踊ったり打楽器をうち鳴らしたりする中で、自分自身を表出していきます。子ども達は実態によって、それぞれ在籍学級の体育や道徳、特活などの時間に通って来ます。授業は原則として一対一で行っており指示や禁止の言葉はできるかぎり排除し、子ども達の思いのままに過ごせる時間となるようにしています。

特別学級の担当となって十八年間、諸先生方のご指導ご援助のおかげで、こんなに長い間務めることができたと感謝しています。

私が初めて特殊学級の担当となったのは昭和四十九年、日本経済の高度成長時代、田中角栄首相の日本列島改造論が渦巻いているときでした。

学校長に上の方から特殊学級を設置してほしいと働きかけがあったのでしよう。二年生の男子七名が選ばれて、昭和四十九年度から本学級がスタートし、私が担任することになりました。

軽度の精進の子が一名おりましたが、いわゆる促進的な学級で基礎学力の低い子たちでした。

小人数でまとまりがよく、どの子もめきめきと学力がのびました。学芸会は脚本を私がつく

り、どの子も主役といった形でA君が自主的にディレクターとなり、私が職員朝礼を終えて教

室へ行くまで進んで練習し本番は大成功でした。五年生の夏にはプールが新設されました。工事中から廊下の流しに水を張り、水中で目を潤くことと呼吸法の練習をしてプールの開きを待ちました。二階の教室からすぐ下にプールが見えたので空いていると授業を中断して、雨の日でも練習をしました。校内外泳大会も独立したクラスとして参加し他のクラスと対等の成績をあげることができました。

また夏にはバスに乗って西浦の岩場へアイナメ釣りに出かけ、思わぬ大漁で、それぞれ分けあって家への土産にしました。天気はいいし眺めもよく子ども達の顔は輝いていました。目を閉じるとそのときの光景がまざまざと頭に浮かびます。

もう結婚してお父さんになった子が四人、それぞれ社会に出て活躍しています。

## 懐しき昔日

長谷部 勤 彌  
小幡 廣

### 学級スナップ

なかま

細川小 三年七組

学級で、ウサギ、インコ、金魚を飼っている。

「パンダ、パンダ、おはよう。」

S男は、担任がいても先に、ウサギに朝の挨拶をする。生きものと孫のようになつてからS男の自

発語が増えてきた。H男は、自主的に、えさをやり

「えさをやりましたよ。」

をくり返している。担任も一緒に擬人化して楽しんでいる。

「パンダ、シイちゃん、さようなら。また、明日ね。」

生きものたちも、だいたいな学級の「なかま」である。



# ライオンズクラブ招待 社会見学

—浜松市動物園—

十月二十一日(木)、市内の二十  
二小学校の特殊学級児童は、浜  
松市動物園へのバス旅行を楽し  
みました。

岡崎ライオンズクラブのご厚  
意による招待社会見学の日です。  
十王公園、朝九時の結団式の  
後、教育委員会の先生方に見送  
られた子ども達は、ライオンズ  
のおじさん、担当教師、父兄と  
共に五台の観光バスに分乗して  
出発しました。

いただいたおかしの袋を大切  
にリュックにしまったバスの中  
での子ども達は、大きい声で自  
己紹介したり、ガイドさんのク  
イズにおおはしやぎ。  
緑の美しい給料に建設された  
動物園では、猿の動作に一喜一  
憂する子。・・・どっと広が



る明るい笑い声の輪。  
模型の大きな動くかぶと虫に  
「くいつかない? だいじょうぶ?」  
と、恐る恐る手を近づけるM君。  
学校へ帰って描いたM君のかぶと  
虫は、大きく力強く、今にも動き  
だしそうでした。それは、今まで  
に彼が描いた絵の最高傑作でもあ

### お礼の言葉

連尺小 父兄

毎年、この機会を与えてくだ  
さる岡崎ライオンズと教育委員  
会の皆様は、厚く御礼申し上げ  
ます。

お弁当やお土産への暖かいご  
配慮にも感謝いたしております。

浜松の動物園は、草木の多い  
丘の道を動物たちの姿を見なが  
らゆったりと歩きました。絵地  
図を見て番号を追い、次は何か  
など楽しみながらハイキングを  
しているようでした。ポニーが  
気に入った子どもにも、家で飼お  
うねとねだられもしました。  
また、帰りのバスに乗り込ん  
だとなんの大層。それも、途中  
でやむという幸運な一日が過ご  
せました。

## 第1回 子ども伝統芸能祭 に参加して

十一月一日(日)太陽の城におい  
て第一回岡崎子ども伝統芸能祭  
が開かれました。

地元の有志の方々の協力により  
伝統芸能が市内の各小中学校で継  
承されています。本会は、この伝  
統芸能の発表を通して、各校の交  
流を深める機会になりました。

この中で、市内の特殊学級に在  
籍する子ども達の「剣舞や詩舞」  
の発表がありました。普段、消極  
的になりがちな子どもたちに自信  
を持たせたいという方々から剣舞  
や詩舞の指導を受けている子ども  
達(井田小・男川小・美川中)も、  
この伝統芸能祭に参加し、発表し  
ました。

練習当初は、声もなかなか出な  
かった子ども達が、出演前の緊張  
を乗り越え、本番では立派にこれ  
までの成果を発表することができ  
ました。参観者から満場の拍手を  
いただき、子ども達はももちろん、  
保護者の方々も満足されたよう  
です。次回の発表に期待がふくら  
みます。

## 招待 映画鑑賞会 六ツ美北中 蜂須賀 隆

今年度もツツイエンターテインメ  
ントさんのご好意により映画鑑賞  
会が実施されました。

今回で六回を迎え、参加校は三  
四校、参加者数も三四〇名を数え  
ました。

特に今年は、当会社のご配慮に  
より、子供たちに好きな映画を見  
ることができるようにと、七種類  
の映画を用意して頂きました。

また、期間も七月下旬の八日間  
を有意義に頂き、学校等の行事に  
ぶつかることなく、日時を確保さ  
せて頂きました。

子供たちは、映画の楽しさ・面  
白さを十分感じたことと思います。



走れメロス 生徒作品

# 昔と今を思う

知立・竜北中学校 兼 平義文

私が最初に特殊教育に関係したのは昭和四九年の梅園小学校でした。当時はいわゆる単学年で編成

される「促進学級」と言われるものでした。坂井ちづ子先生と共に

「知多ビーチランド」で一日を過ごした。これは、社会見学で行った経験があるし、その後またびた

ました。勿論、当時はそんな言葉を知らず、満足な指導ができなかったことを反省しています。

三年目に入って本格的な特殊学級を一学級で編成しました。促進学級当時と比べて、楽しいもの

毎日神経を使い、午後になると疲れが出て、時にはトランポリンの上で体を横にしました。すべて異

学年の五名の子どもの指導をする現在のタイプです。指導と聞いて

も内実は一緒に「遊ぶ」、厳密に言えば「私が遊んで貰っていた」

かもしれない指導でした。私はこの時代を「私の特殊教育の原点」と考えています。

て入院しとった。お医者さんは人間関係が原因かもしれん、と言った。

聞いていて、特別な世界の話でなく、私にはとても身近な話のように思いました。

二回目の同級会があったのは、十一月二十日の夜のことです。前

回の教え子二名と、今度は保護者も一緒に車に乗り、教珠を持って

柴田九二男先生に会いに出かけました。

あまりにも予想外の同級会になりました。私が担当していた特殊学級の児童は、そのまま甲山中学校の特殊

学級に進み、当時担当していた柴田先生のお世話になった子どもばかりなので。

どういうわけか、私は甲山学校の同級会にも招待されます。今年

のお盆の同級会では、ビールを飲み、カラオケで歌って楽しみました。途中柴田先生が足をさすりながら私に言いました。

## 県外研修報告

―神戸市立垂水小を訪問して―

一段と秋の深まりを感じるようになった十一月半ば、神戸市立垂水小学校へ研修視察に行きました。

神戸市は、約二十年にわたり情緒障害教育への取り組みが続けられており、現在、市内を五つの区域に分け、その通級区分により、

通級および教育相談を行っているそうです。垂水小学校もその内の一つで、幼稚園児と小学生が通級の精進学級もありました。

校舎の二階に入ると、大学かセンターかというくらい、プレイルームや水遊びの部屋・調理コーナー・箱庭・マジックミラー・相談室、設備・備品が整っているのに驚きました。また、通級担当の先生の

研修日、大学の教授・専門の先生との話し合いの時間が通級時間の中で確保されており、連携を図って、きちんとした理論のもとにすすめられていくことをうらやましく思っていました。そして、十年も担当を

していてもなお、情熱を持って自ら勉強をしてみえる前川先生がとても魅力的に思えました。

三島小 濱井美由紀

## 悼 故 柴田九二男 先生

先生は、岡崎市の特殊教育にはなくてはならぬ人でした。とりわけ、中学校の進路指導や学級経営では、御自分の長い教職経験をもとに若手教師たちに本当に多くのことを具体的に教えていただきました。

柴田先生がつくるクラスは、子どもたちが輝きました。御葬儀で奏でられた生徒たちのハンドベルは、柴田先生と子どもたちがふれあひ、はぐくまれた数々の思い出

「本当に大切な特殊教育は、生徒が二十歳を過ぎてから始まるぞ。この子たちの相談相手になってい

るなあ。俺も長生きしたいかん。」



当時の授業風景から

の音色となりました・・・ご冥福をお祈ります。合掌